

報告課題⑤ 第2回テストに向けて（復習プリント）

**虎**：宣王（楚国の王）

**狐**：昭奚恤（宣王から北方を治めるように命じられた大臣）

**百獸**：周囲の国（当時、楚国の方にあつた、魏及び趙の国）

『戦国策』でこのたとえを語る男 **江乙**（遊説家・楚の国から圧迫を受けている魏の国から送り込まれ、昭奚恤を陥れ、北方の大臣（昭奚恤）を交代させようとしたと言われている。）

宣王「北方の魏と趙が、昭奚恤を恐れているという噂は本当か？」

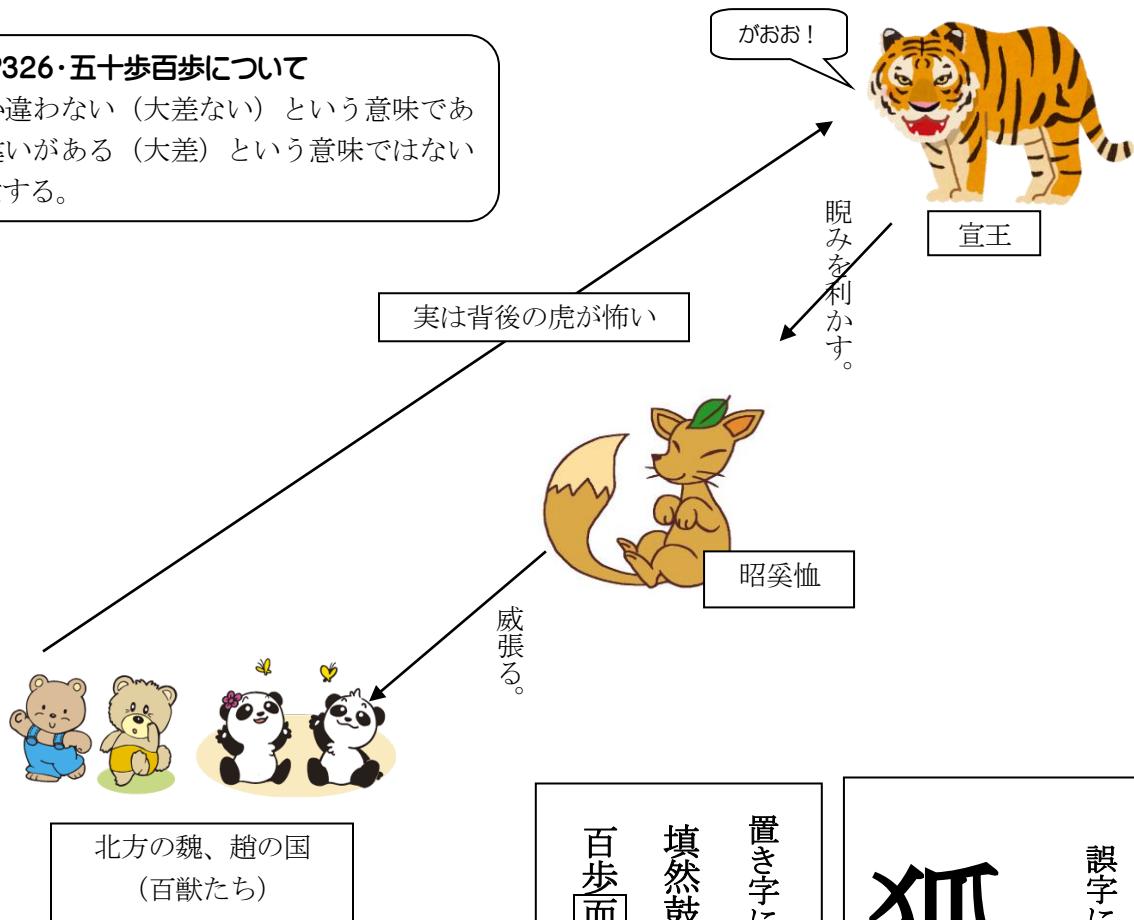
教科書本文を江乙が語る。

江乙「いいえ、昭奚恤の後ろで目を光らせている王様が怖いのです。」

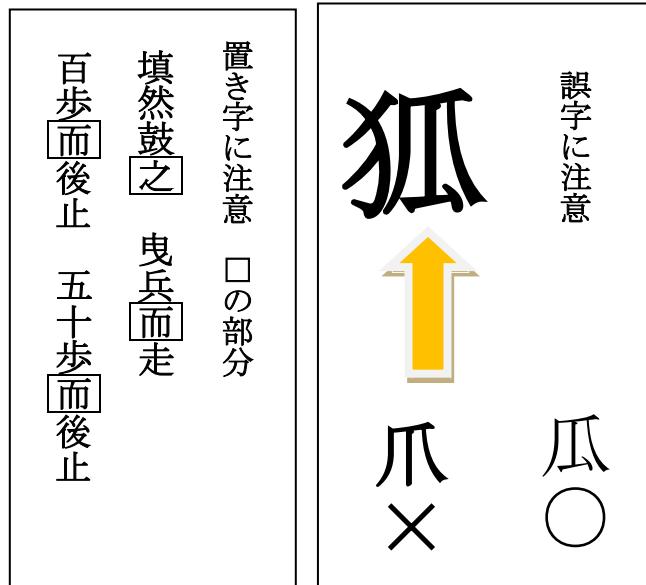
◎江乙がここで「はい」と答えると王を侮辱することになる。「いいえ」と答えると昭奚恤に疎まれることになる。しかし、北方にいるのでわからない。この話で一番のキツネは、江乙なのかも知れない。

前ページ P326・五十歩百歩について

五十歩しか違わない（大差ない）という意味であり、倍の違いがある（大差）という意味ではないことに注意する。



北方の魏、趙の国  
(百獸たち)



（書き下しの時）助詞と助動詞は、  
ひらがなにすること！ P 327

「不可。直不百歩耳。是亦走也」

不可。直不百歩耳。是亦走也

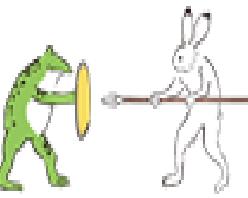
耳…限定の助動詞「のみ」  
也…断定の助動詞「なり」

※教科書P 326 「走」について。負けて逃げる「敗走」<sup>はいそう</sup>が思い浮かぶだろうか。また「敗北」<sup>はいぱく</sup>という熟語の「北」は、この

熟語の場合、方角ではなく、「北にげる」(逃げる)という動詞で読む漢字でもある。

教科書P 329 次の故事成語のいわれや意味について調べよう。

**矛盾**<sup>むじゅん</sup>・銅器から鉄器へと変わつていく時期に、武器商人が丈夫な鉄製武器を売り込むために使われた商売文句か?槍から全身を守るための盾ではあまりにも重すぎるので、上半身だけを守れる(自分の腕力だけで持てる)大きさだったと言われる。(左図参照)



### 推敲

「題李凝幽居」

李凝の幽居に題す

### 閑居

閑居 隣並(りんぺい)少(まれ)に

草径(くさけい)荒園(こうえん)に入る

鳥宿池辺樹

鳥は宿る 池辺(ちへん)の樹

僧敲(たた)月下門

僧は敲(たた)く 月下的門

過橋分野色

橋を過ぎて 野色(やしょく)を分かち

移石動雲根

石を移して 雲根(うんこん)を動かす

暫去還來此

暫く去りて 還(ま)た此に来たらん

### 助長

「守株」にも出てきた「宋人」が行つたこと。とかく「宋人」は愚かな民族として描かれることが多い。

**漁父の利**<sup>ぎよふり</sup>・実際に戦おうとしたのは「趙」の国と「燕」の国。ただ、「趙」の国の家来が、惠王に「両国が争つて、人民が疲弊したあとに、秦の国が攻めて来たらどうするのか」と諫めたため、惠王は「燕」の国を攻めるのを思つてしまつた、という話。

※誤字 レポート裏面 六④漁夫の利→漁父の利

**朝一暮四**<sup>ちょういつばんし</sup>・朝4つ 夕3つ ↑ 猿たちは朝早くに、たくさん食べられた方が得!と考えた。

### その他

**朝盈夕虛**<sup>ちょうえいせききょ</sup>・朝開暮落<sup>ちょうかいぼくらく</sup> (人の一生は儂いことのたとえ)、**朝改暮變**<sup>ちょうかいぼへん</sup>・**朝令暮改**<sup>ちょうれいぼかい</sup> (命令や制令、法律などがすぐに変わつてしまい、しつかりと定まることがないこと)など、「朝○暮×」<sup>×</sup>といふ四字熟語は、一日のうちに変化が起るほど(短くて儂い)ことを表すものが多いことが分かる。